

橋梁メンテナンス技術レベル認定基準

1. 基準の目的

この基準は、地域における橋梁メンテナンス技術者の育成と橋梁メンテナンス業務の確実な履行を推進するため、独立行政法人国立高等専門学校機構が、所定の学修を修了した者に橋梁メンテナンスに関する資格を付与する制度を創設するにあたり、付与資格の内容、資格認定試験で確認する知識及び技能、及び、資格認定試験の合格基準等を定めることを目的とする。

2. 付与資格の内容

- (1) 付与資格の名称は、准橋梁点検技術者、橋梁点検技術者、及び、橋梁診断技術者とする。
- (2) 対象とする施設は、橋梁（コンクリート橋）及び橋梁（鋼橋）とする。
- (3) 対象とする業務は、点検及び診断とする。
- (4) 対象とする業務の実施範囲は、以下のとおりとする。（表1参照）

①准橋梁点検技術者

地方自治体が管理する道路橋のうち一般的な橋梁形式のものについて、道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）に基づき実施する点検業務に従事することができる。

②橋梁点検技術者

道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）に基づき実施する道路橋の点検業務及び診断業務（但し、診断業務は地方自治体が管理する一般的な橋梁形式の道路橋に限る）に従事することができる。

③橋梁診断技術者

道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）に基づき実施する道路橋の点検業務及び診断業務に従事することができる。

表1 対象とする業務の実施範囲

技術資格名称	特殊な橋梁形式 (アーチ橋、吊橋、斜張橋等)	一般的な橋梁形式 (桁橋、床版橋等)
准橋梁点検技術者	資格なし	点検業務*
橋梁点検技術者	点検業務	点検業務、診断業務*
橋梁診断技術者	点検業務、診断業務	点検業務、診断業務

*主に地方公共団体発注業務を対象

3. 資格認定試験で確認する知識及び技能

(1) 准橋梁点検技術者認定試験では、以下について確認する。

- ・橋梁工学に関する知識及び道路構造物の損傷に関する知識を有すること。
- ・一般的な橋梁形式の道路橋について、道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）に基づき実施する点検業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有すること。

(2) 橋梁点検技術者認定試験では、以下について確認する。

- ・橋梁工学に関する知識及び道路構造物の損傷に関する知識を有すること。
- ・一般的な橋梁形式以外の道路橋も含め、道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）に基づき実施する点検業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有すること。
- ・道路構造物の損傷に対する補修・補強方法に関する知識を有すること。
- ・一般的な橋梁形式の道路橋について、道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）に基づき実施する診断業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有すること。

(3) 橋梁診断技術者認定試験では、以下について確認する。

- ・アセットマネジメント、橋梁工学、技術基準、及び、道路構造物の損傷に対する補修・補強工法に関する知識を有すること。
- ・一般的な橋梁形式以外の道路橋も含め、道路橋定期点検要領（令和6年3月国土交通省道路局）に基づき実施する点検業務及び診断業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有すること。
- ・道路橋の健全性の診断に基づき適切な措置を講ずるために必要な知識及び技能を有すること。

4. 資格認定試験の合格基準

(1) 准橋梁点検技術者認定試験合格基準

准橋梁点検技術者認定試験は、選択式問題（問題数30問、配点100点）で構成し、得点が80点（正答数24問）以上の者を合格とする。また、出題範囲毎の必要正答数を表2のとおり設定する。

表2 准橋梁点検技術者認定試験の設問方針と合格基準

出題範囲	設問方針	設問数	出題範囲別 必要正答数
橋梁マネジメント概論	アセットマネジメント、道路橋三大損傷に関する知識や理解を問う	2	1
橋梁工学	橋梁形式、構造力学、橋の構成、各部材に関する基礎的な知識や理解を問う	5	2
コンクリート構造物の損傷と対策	変状（初期欠陥、損傷、劣化）の特徴や発生要因、対策手法に関する個別の知識や理解を問う	4	2

鋼構造物の損傷と対策	損傷（腐食、疲労亀裂、ゆるみ・脱落）の特徴や発生要因、耐候性鋼材、防食機能の劣化、対策手法に関する個別の知識や理解を問う	4	2
共通の損傷	下部工、支承、As 舗装の損傷の特徴や発生要因に関する個別の知識や理解を問う	3	1
橋の点検要領	点検の種類、定期点検、健全性の診断・措置に関する基本事項の理解を問う	3	1
コンクリート橋の点検	コンクリート構造物の点検・事象捕捉・損傷評価に必要な総合的な知識や理解を問う	3	1
鋼橋の点検	鋼構造物の点検・事象捕捉・損傷評価に関する総合的な知識や理解を問う	3	1
構造物の詳細調査	コンクリート構造物対象、鋼構造物対象の詳細調査の目的や手法に関する知識や理解を問う	3	1
合格基準 80点以上（正答数24以上）		合計問題数 30	

（2）橋梁点検技術者認定試験合格基準

橋梁点検技術者認定試験は、選択式問題（問題数30問、配点60点）、記述式問題（問題数2問、配点20点）、及び、点検調書（コンクリート橋及び鋼橋の定期点検の現場演習成果品、配点40点）で構成し、選択式問題の得点、記述式問題の得点、及び、点検調書の評価点の合計が96点以上の者を合格とする。また、出題方法別必要点を表3のとおり設定する。

表3 橋梁点検技術者認定試験の配点と合格基準

出題方法	問題数 (設問毎の配点)	配点	出題方法別 必要点
選択式問題	30問 (各2点)	60点	36点
記述式問題	2問 (各10点)	20点	12点
点検調書	—	40点	24点
合格基準 合計96点以上		120点（満点）	

（3）橋梁診断技術者認定試験合格基準

橋梁診断技術者認定試験は、選択式問題の得点（問題数25問、配点50点）、記述式問題の得点（問題数1問、配点10点）、及び、演習レポートの評価点（問題数2問、配点40点）で構成し、得点の合計が80点以上の者を合格とする。また、出題方法別必要点を表4のとおり設定する。

表4 橋梁診断技術者認定試験の配点と合格基準

出題方法	問題数 (設問毎の配点)	配点	出題方法別 必要点
選択式問題	25問 (各2点)	50点	30点
記述式問題	1問 (各10点)	10点	6点
演習レポート	2問 (各20点)	40点	各12点
合格基準 合計80点以上		100点(満点)	

平成28年9月2日 制定

平成30年2月28日 一部改定

令和3年10月8日 一部改定

令和4年6月10日 一部改正

令和6年5月1日 一部改定